

施策評価シート(令和2年度実施施策)

総合計画 体系	政策	2	政策名	安心で安全な暮らしづくり	施策主管課	総務課
	施策	2-2	施策名	交通安全・防犯体制の充実	施策主管 課長名	国分 利則
関係課	総務課 町民税務課					

1. 施策の目的

対象	①町民	意図	①交通事故・犯罪に遭わない
	②町域		②交通事故・犯罪の予防が施されている

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値				下段：実績値
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
交通事故（人身事故）の発生件数（減少）	件	33	30	29	28	26	25
			18	17	28	22	24
運転免許証の自主返納者数（増加）	人	62	71	76	80	85	89
			102	99	112	149	113
犯罪の発生件数（減少）	件	78	72	69	65	62	59
			75	51	65	65	65
防犯に気を使った生活をしている町民の割合（維持）	%	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2
			83	85	84.2	83.8	77.6

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

各期の交通安全運動を通じ、警察署や交通関係団体と交通安全の取組を行うとともに、新入学児童の交通教室の実施や反射材の着用を積極的に啓発し、前年度より件数は増加したが、目標値を下回ることができた。
全国的に高齢者による交通事故が新聞・ニュース等で報道され、また広報紙や関係機関による周知に図ったため、前年度より減少したが、目標値を上回ったものと考えられる。
地域安全運動や防犯協会の活動を通じ、警察署をはじめ関係機関と協力しながら啓発活動を行ったことから、目標値には達していないが、昨年と同様の件数となったものと考えられる。
町内の犯罪件数が前年度と同じ件数だったことから、目標値には達していないが、防犯に対する意識に大きな変化がなかったものと考えられる。

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・警察、防犯協会等関係機関と連携し、防犯診断やチラシの配布などの啓発活動を実施した。また、自治区が管理する防犯灯電気料の補助及びLED化の支援を実施した。 ・交通関係機関や交通教育専門員とともに、高齢者の交通事故防止を重点に交通安全運動を実施した。また、運転免許自主返納者へ美里あいあいタクシー券の交付を行った。 ・消費生活相談員を配置し、消費者安全の確保に努めた。

5. 次年度の方向性

高齢者の交通事故防止のため、運転免許自主返納支援事業を促進するとともに、自治区が管理する防犯灯のLED化への支援を続ける。また、多様化する消費生活相談内容に対応できるよう、消費生活相談員の育成に取り組む。
--

重点的に取り組む課題

運転免許証自主返納の促進
交通教育専門員の確保
自治区が管理する防犯灯のLED化への支援
消費生活相談員の育成

施策の重点事業

交通安全対策事業
防犯対策事業
消費者教育・啓発活性化事業

6. 施策を構成する事務事業

番号	事業通番	事務事業名	令和2年度決算額 (千円)	最終評価結果	
				事業実施の方向性	成果の方向性
1	4474	消費者教育・啓発活性化事業	3,108	継続	現状維持
2	4680	防犯対策事業	15,237	継続	現状維持
3	4909	交通安全施設整備事業	1,068	継続	現状維持
4	4911	交通安全街頭指導事業	1,762	継続	現状維持
5	4912	交通安全教育センター管理委託事務	120	継続	現状維持
6	4914	運転免許自主返納支援事業	2,277	継続	現状維持